

宇土市立中学校標準服（標準服（制服））に関する基本的な考え方

宇土市の中学校においては、長い間、男性は学ラン、女性はセーラー服を中学校の標準服として指定してきました。しかしながら、現在、ライフスタイルの多様化や昨今の激しい気候変動などにより、従来の標準服（制服）だけでは対応が難しい状況にあります。

したがって、これまでの標準服（制服）の伝統を引き継ぎつつも、新たな時代のニーズに対応できる標準服（制服）の在り方について検討するため、中学校長やPTA代表等を委員とする標準服（制服）検討プロジェクト会議の実施や、児童生徒や保護者に対するアンケートを実施してまいりました。

また、アンケートにおいて、標準服（制服）を自由に選択できる方がよいとする割合は半数以上であったという結果を踏まえ、従来の標準服は残しつつ、第3の標準服（制服）を導入することとします。なお、第3の標準服（制服）のデザイン選定に当たって、サンプルの展示会を開催し、児童生徒及び保護者のアンケートにより、決定していくというプロセスをとります。

なお、第3の標準服（制服）の導入に当たっての具体的な導入時期、配慮すべき事項については下記のとおりです。

記

1 導入の時期

新標準服の導入時期は、令和7年4月とします。

2 配慮すべき課題

（1）経済的な負担：標準服（制服）は、特定のデザインやブランドに基づいている場合があり、それによって高価になることがあります。家庭の経済状況によっては、標準服（制服）の購入や買い替えが大きな負担になることがあります。したがって、制服価格の学校間の差をなくすため統一の標準服（制服）とすることで、現在の取り扱う標準服（制服）の価格以上とならないよう配慮します。

（2）快適さや着やすさへの対応：標準服（制服）の素材によって、快適性や動きやすさに影響を与えることがあります。標準服（制服）は、長時間着用するため、着心地と快適さ、手入れのしやすさに配慮いたします。

（3）多様性への対応：文化や慣習の違い、ジェンダーの多様性に配慮するため、第3の標準服（制服）については、男女ともにスカート、スラックスが選べるよう配慮いたします。

（4）各中学校のイメージの尊重：学生標準服（制服）は、可能な限り学校のイメージについても配慮した標準服（制服）とします。イメージを表現するために、ネクタイやリボン

の導入については、色や形を各中学校で選定することで、学校の一体感や誇りを高めるよう配慮します。

(5) SDGsに配慮したデザイン：環境に配慮したエコ素材仕様の上着や、多様性に配慮したデザインを取り入れることで、SDGsの視点を大事にした標準服（制服）となるよう配慮します。